

2025年(令和7年)1月17日(金曜日)



日立ソリューションズ・クリエイト

南 章一 社長



国内のIT需要はDXの注目度が高く2桁成長している。当社は日立製作所と日立ソリューションズと連携して進めるSIと、独自に展開するソリューションサービス

の注目を進めるが、2軸で事業を進めるが、いずれも順調に伸ばすことができた。2024年度は中期経営計画の最終年度になる。今中計は「ワークスタイルイノベーション」

「モダンイズイン」の推進を推進する。クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。

クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。

「モダンイズイン」「ペイメント」の推進を推進する。クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。

「モダンイズイン」「ペイメント」の推進を推進する。クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。

「モダンイズイン」「ペイメント」の推進を推進する。クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。

「モダンイズイン」「ペイメント」の推進を推進する。クラウドサービス「ペイメント」の推進を推進する。

生成AI活用で手応え

顧客企業の課題解決へ展開

顧客企業の課題解決へ展開。生成AI（人工知能）の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。

顧客企業の課題解決へ展開。生成AI（人工知能）の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。

顧客企業の課題解決へ展開。生成AI（人工知能）の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。

顧客企業の課題解決へ展開。生成AI（人工知能）の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。

顧客企業の課題解決へ展開。生成AI（人工知能）の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。

顧客企業の課題解決へ展開。生成AI（人工知能）の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。

顧客企業の課題解決へ展開。生成AI（人工知能）の活用も始めた。日立グループの共通基盤の活用も始めた。